

2023年度 日本工学院専門学校											
デザイン科/インテリアデザイン専攻											
卒業制作											
対象	3年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	360	単位	12
担当教員	角田 光代			実務 経験	有	職種	インテリアデザイナー				
担当教員紹介											
角田：建築士として、住宅・店舗の意匠設計に12年間携わり、インテリアデザインにこだわる仕事をしてきました。現在は専任教員として自身の経験をインテリアデザインへの興味を広げる授業になるよう展開しています。											
授業概要											
この科目では、各自またはゼミのテーマに基づき3年間のまとめとしての作品を制作する。卒業制作は、あくまで社会のニーズにもとづくもの、あるいは社会の問題・課題を改善するものを、調査・考察し、具体的な企画案を提案し、企画にもとづくツールやモックを制作し、広く一般に向けてプレゼンテーションすることを目的とする。											
到達目標											
調査力、考察力、企画力、プレゼンテーション力、モノを作るための技術力や表現力、そしてこれら全体を含むプロジェクトを管理(マネージメント)する力を身につけることも目標とする。この中のどれかひとつが長けているのではなく、あくまでバランス感覚に優れた人物になるため、すべての工程において成果を出すよう、取り組むこと。											
授業方法											
これまでの実習科目の進め方とは違い、ゼミの担当教員と学生の「面談」が授業の主体となる。学生は、毎回担当教員に、卒業制作作品の進捗状況および今後の計画について報告し、それに対して教員は適宜必要なアドバイスを実施する。											
成績評価方法											
プレゼン	20%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する									
リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する									
平常点	20%	積極的な制作準備と過程を評価する									
履修上の注意											
学生は各回ごとに必要な資料をアナログまたはデジタルデータで準備すること。調査、取材などの日程が授業と重複する場合には、実施前日までに担当教員の許可を得ること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。											
教科書教材											
参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	企画アイデア提案 / 3案以上の企画アイデアを提案し、取り組むべき「課題」を導き出すことができる										
第2回	企画調査 / 「課題」に基づき、市場調査を行い、ターゲットの動向を把握する										
第3回	企画の立案 / 市場調査に基づき、「課題」に必要な企画を立案する										
第4回	企画書作成 / 立案した企画を、想定したターゲットやクライアントに向けた企画計画書としてまとめる										
第5回	企画プレゼンテーション / 企画計画書を、必要なビジュアル用いながら具体的に、わかりやすくプレゼンテーションする										

2023年度 日本工学院専門学校	
デザイン科/インテリアデザイン専攻	
卒業制作	
第6回	β版制作作業① / 「課題」を改善するツールやモックのビジュアルを作成し、完成形がわかるものを制作する
第7回	β版制作作業② / 「課題」を改善するツールやモックのビジュアルを作成し、完成形がわかるものを制作する
第8回	中間プレゼンテーション / β版をプレゼンテーションし、教員等の指摘を受け止め、改善点を導き出すことができる
第9回	制作作業① / 「課題」を表現するための最適なメディアを意識して作品を制作する
第10回	制作作業② / 「課題」を表現するための最適なマテリアルを選択して作品を制作する
第11回	制作作業③ / 「課題」が的確に表現できているのか、教員と共に検証作業をする
第12回	制作作業④ / 検証作業を経て、作品を修正し、納期までに作品を完成させる
第13回	最終プレゼンテーション / 「課題」と自身の計画を振り返った上で、自身の作品の最終プレゼンテーションを行う
第14回	展覧会準備 / 展覧会に合わせ、展示計画やツールを検証し、制作する
第15回	展覧会 / 自身の作品を展示し、他者に自身の「課題」解決提案としての作品を丁寧に説明できる